



十二町っ子だより

学校だより 第5号

令和8年9月4日

氷見市立十二町小学校



2学期のスタート～なりたい自分へ向かって～

8月27日の豪雨によって十二町校区の多くの地域は浸水被害を受けました。被害に遭われた皆様方へ心よりお見舞い申し上げます。

28日の時点で、通学路はどの方面も冠水していたことから、2学期の開始が心配されましたが、31日には、通学路の安全を確認することができました。また、ありがたいことに、学校の校舎は浸水することなく、被害はありませんでした。避難を余儀なくされ、大変な思いをした子供たち

もいましたが、9月1日には元気に登校することができて安心しました。

始業式では、地震や豪雨等、いつ発生するか分からない災害に対し、自分の命を守る行動を考え、実行することの大切さを伝えました。今回の豪雨を経験し、子供たちも災害の恐ろしさや当たり前の生活のありがたさを感じたと思います。今後も、学校が一丸となって防災意識を高め、様々な状況に対応することができるように努めていきます。

また、1学期よりレベルアップした「なりたい自分」へ向け、チャレンジするように呼びかけました。一人一人が「なりたい自分」に近付き、充実感を味わうことができる2学期になるよう支援していきますので、ご家庭でも励ましをお願いいたします。

今後、高齢者宅訪問、ふれあいウォークラリー、学習発表会、もちつき大会等、家庭や地域と触れ合う行事が予定されています。温かい交流の中で、子供たちが自分のよさを発揮するとともに、地域のよさを感じ、愛着を深めていくことを願っています。

思い出に残る夕べの集い

今年も6年生を中心に、4・5年生が協力して夕べの集いの企画・準備・運営を行いました。7月25日には、どの模擬店でも子供たちの笑顔があふれ、相手に合わせて丁寧に説明する上学年の姿に頼もしさを感じました。保育園児や本校の卒業生である高校生も参加してくれました。

子供たちの活動が充実するようにご協力くださったPTAの皆様、子供たちの活動を支えてくださった保護者の皆様、どうもありがとうございました。



早朝親子除草 ありがとうございました

8月23日の早朝親子除草では、グラウンドの除草やペンキ塗りに親子で取り組んでいただきました。多くの保護者の皆様にご協力いただいたおかげで、環境が美しく整い、気持ちよく2学期をスタートすることができました。ありがとうございました。



新しい教職員を紹介します

2学期より、次の教職員が加わりました。よろしくお願いいたします。

養護助教諭

A L T



アクションプラン中間報告

学校評価に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。中間評価の結果から方策を見直し、改善に向けて取り組んでいきます。

アクションプラン1		アクションプラン2	
友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを伝え合うことができる。・・・80%以上		思いやりのある言動を取る。・・・80%以上	
行動Ⅰの方策と中間評価		評価 A…目標達成に効果があった B…やや効果があった C…あまり効果がなかった	
〈方策1〉【評価B】 ・友達の話を聞く態度が向上するように「聞き方表」を教室に掲示し、授業でのペア・グループ学習で活用するとともに、自分の態度を振り返る機会を確保する。 〈方策2〉【評価B】 ・対話タイムでは伝え合いが生まれるようにテーマを工夫したり、授業では効果的な対話ができる場面でペア・グループ等の学習形態を取り入れたりして、子供たちが主体的に話すことができるようにする。		〈方策1〉【評価B】 ・子供たちが主体となって挨拶運動を行うことができるよう、代表委員会が方策を考え、継続して実践・振り返りを行う。 〈方策2〉【評価B】 ・相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、互いのよさを見付け、認め合う機会を設ける。また、「十二町っ子ほかほかの木」の掲示や「ほかほか週間」を設定し、実践意欲を高める。	
アンケート結果 ○%・・・「とてもそう思う」「だいたいそう思う」の合計			
・授業や対話タイムで話を聞くことができた相手を見て・いい姿勢で……………児童 90% - うなずきながら・笑顔で・終わりまで ……児童 88% ・対話タイムで、友達のことについて聞きたいことを進んで質問することができた……………児童 92% ・授業で、自分の考えや思いを相手に分かりやすく伝えることができた……………児童 89% ・「～さんと同じで、付け足して」等を使って友達につなげて話すことができた……………児童 77% ・「いつ・どこで・だれが・どのように・なぜ」等を使って友達に質問することができた……………児童 81% ・家庭での対話タイムで、子供は保護者の方に進んで質問することができた……………保護者 88%(内A評価 37%) ・日常生活や学習参観の様子から、子供は相手を見て最後までしっかりと話を聞くことができている……………保護者 86%(内A評価 13%) ・日常生活や学習参観の様子から、子供は自分の思いや考えを伝えることができている……………保護者 88%(内A評価 19%)		・挨拶をすることができた大きな声で……………児童 91% - 笑顔で……………児童 77% - 相手より先に……………児童 85% - 立ち止まっておじぎして……………児童 74% - 家族や地域の方に……………児童 83% ・友達の気持ちを考えて言葉をかけたり、行動したりすることができた……………児童 88% ・友達のよいところを見付け、伝えることができた……………児童 87% ・自分の挨拶や行動を振り返り、自分のよいところや直したいところについて考えることができた……………児童 75% ・子供は家庭や地域で挨拶をしている……………保護者 88%(内A評価 21%) ・子供は友達の気持ちを考えて話したり接したりしている……………保護者 84%(内A評価 19%) ・子供は家族の気持ちを考えて話したり接したりしている……………保護者 88%(内A評価 15%)	
行動Ⅱの方策			
〈方策1〉 ・いつでも友達や周りの人の話を聞く態度を向上できるよう、「聞き方表」を活用して継続的に指導するとともに、日常生活等いろいろな場面での自分や友達の聞き方についてワークシートを用いて定期的に振り返りを行う。 〈方策2〉 ・対話タイムでは伝え合いが生まれるようにテーマを工夫して意欲的に取り組めるようにするとともに、「話型」を示すことで友達につなげて話すことができるようにする。		〈方策1〉 ・子供たちが主体となって、挨拶運動を行うことができるよう、代表委員会が方策を考え、継続して実践・振り返りを行う。 ・挨拶振り返りカードの効果的な活用 ・挨拶の視点の明確化(挨拶ポスターの教室への掲示等) ・挨拶を価値付ける取組(絵本の紹介等) 〈方策2〉 ・「十二町っ子ほかほかの木」の掲示や「ほかほか週間」の取組を継続するとともに、学校と家庭の両面から、相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いのできた場面を積極的に価値付けていく。	